

# 清流

12月

発行：浜松市下阿多古ふれあいセンター 編集協力：下阿多古ふれあいセンター活動推進委員会  
〒431-3427 浜松市天竜区上野172番地の3 TEL 053-926-3141

世帯数と人口(令和7年11月1日現在)

	世帯数	前月比	人口	前月比
浜松市	360,410	171	779,295	-158
天竜区	11,730	-1	24,382	-38
下阿多古	1,261	-2	2,354	-3

詳細は [浜松市統計](#) [検索](#)

《ふれあいセンター利用団体の紹介》

## 【わかあゆコーラス】

阿多古川の清流をイメージし、皆さんから親しまれる名前として付けられた「わかあゆコーラス」は、昭和59年4月からスタートしました。歌を歌うことが好きな人が集まり、気持ちを一つにして歌うハーモニーが41年の歴史を刻んできました。

今年も、きずな館ホールで練習を重ね、10月26日の天竜芸術祭芸能発表会に臨むと、壬生ホールには、さわやかな歌声が響き渡り、客席から大きな拍手が沸き起きました。



「わかあゆコーラス」は、きずな館ホールで月2回の練習をしています。メンバー募集中です。

【お問合せ】下阿多古ふれあいセンター ☎ 926-3141

## 歴史っておもしろい！

11月10日、浜松史蹟調査顕彰会専門委員の坪井俊三先生による「歴史講座」が開催されました。

先生の「歴史を語るには、同時代の古文書や日記に裏付けられたものでなければならない。」という考えのもとに収集された貴重な阿多古に関する史料から、その当時の村々の様子を分かりやすく語っていただきました。地元の歴史を知るとしても有意義な時間でした。



## 『下阿多古のむかしばなし』⑨ 家老野(からうの)のしゃぐつ様(上野)

昔々、錫杖(しゃくじょう)について家々を回って托鉢(たくはつ)をして歩く僧がいた。錫杖というのは杖の先の方に環(かん)をつけ、それに数個の環(わ)がついて、杖をつく度にガチャンと音がする。そんな錫杖を持った僧を村の人たちは、山伏様と呼んでいた。

その山伏様が家老野まで亡くなられた。村の人々は、そこに一個の自然石をたて、山伏様の靈としてこれを祭った。ところが、山伏様の靈はお祭りをしないと「たたり」があった。それ以来、村の人々は、毎年お祭りを欠かすことなく続けた。

参照:「下阿多古の昔話」

しゃぐつ様は、石金神(しゃっこんじん)が祭神となつており、屋敷内の者を守ってくれる「地の神様」、同じ祖を持つ「道祖神」としても代々祀られ、祭りは毎年4月3日前後、どちらかの日曜日で行われているそうです。



